

人々は天に向かい、地に向かい大喜び！ 白新線の開通！

■ 実現までに50年以上！

「新潟—新発田間に鉄道を」という声
が最初にあがったのは、1897（明治
30）年のことです。1923（大正12）年
には、葛塚町が鉄道大臣に、鉄道建設の
請願を行いました。しかし結局、白新線
の敷設が決定したのは1937（昭和12）
年のことでした。

決定後も、さまざまな問題が発生しま
した。そのひとつが、ルートを葛塚経由
にするか、松浜・内島見経由にするかと
いう問題でした。

1939（昭和14）年、ルートが決まって
用地買収が始まりました。翌年には、線
路の土盛工事が行われました。土盛に
は城山、築上山などの砂が使われたと
いわれています。

しかし1943（昭和18）年、太平洋戦
争が厳しくなって物資が不足すると、工
事は中止されることになりました。

■ 祝 開通！

工事再開は1952（昭和27）年。この
年12月23日に新発田—葛塚間が開通
し、葛塚駅が開業しました。人々は、提



葛塚駅に到着する新発田発の一番列車

灯行列を行い、開通を喜び祝いました。
当時、この区間の片道運賃は20円、時
間は40分かかったそうです。

その後も工事は続き、1956（昭和
31）年4月15日、葛
塚—白山間が開通
し、全線開通とな
りました。新崎駅もこ
のとき開業していま
す。翌年2月11日に
は早通駅と黒山駅
が開業し、今の北区
にある4つの駅が誕
生しました。



「敬天喜地」の碑
（豊栄駅南口）
白新線開通を記念
して建立されました。

■ 白新線開通がもたらしたもの

白新線によって沿線の開発も進みま
した。豊栄駅の南側にある白新町は、
白新線の工事にあわせて開発され、白
新線にちなんで、町名が付けられました。

現在も、豊栄駅をはじめ、駅周辺は
住宅地が開発され、通勤・通学に便利
ということで、多くの人が移り住むよう
になっています。白新線は、地域の発展に
大きな役割を果たしています。



2006年3月に完成した現在の豊栄駅
（1976年に葛塚駅を豊栄駅と改称）

『北区お宝ものがたり』は、博物館などで1冊800円で頒布しています。